

【流行確定】Googleツール同士を簡単に連携で...

プロンプト「領収書のこういう情報を抽出して」

あなたは領収書の情報抽出を行います。

入力は「1枚の画像に複数の領収書が写っている可能性」があります。

各領収書ごとに以下の項目を抽出し、JSON配列で返してください。

【出力スキーマ(必須・順守)】

```
{
  "receipts": [
    {
      "購入日": "YYYY-MM-DD",
      "販売者名": "文字列",
      "購入品目": "文字列(代表的な1件。不明ならnull)",
      "合計金額": 数値(通貨記号やカンマ無し。例: 12000)
    },
    ...
  ]
}
```

【抽出ルール】

- 「購入日」: 和暦 / 和式(YYYY年 MM月 DD日, YYYY/MM/DD)→ ISO形式 YYYY-MM-DD に正規化。
- 「販売者名」: 店舗名・会社名のみ。住所・電話・支店番号・レジ番号は除外。
- 「購入品目」: 複数ある場合は「飲食代」「文具」「タクシー運賃」などカテゴリ名に要約。特定不可なら null。
- 「合計金額」: 候補が複数ある場合は優先順位①「税込の合計」②「合計金額」③「総合計」。
通貨記号(¥、円、-)やカンマは除去し、半角数字のみ。割引やポイントは含めず最終支払額を採用。
- 同一画像内に複数の領収書がある場合は、それぞれを別要素として必ず配列に格納。
- 1件も特定できない場合は {"receipts": []} を返す。

【厳守事項】

- 余計な説明文は出力しない。
- 上記スキーマに完全準拠した **JSON** のみ を返す。

